

小田原駅周辺地区大規模雨水処理施設整備事業計画（第1回変更）

（様式1）

項目	内容・施策等
選定理由	<p>小田原駅周辺の中心市街地の雨水排水を担う大下水第一雨水幹線は、令和元年に道路陥没が発生し、現況調査を実施したところ著しい老朽化が判明した。</p> <p>中心市街地における雨水排水機能を確保し浸水を防止するため、集中的な雨水渠の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨 ハード整備による整備水準の目標：57mm/hr（10年確率降雨）</p> <p>②目標設定</p> <p>i)生命の保護の観点：当該排水区における床上浸水を防止する。</p> <p>ii)都市機能の確保の観点：中心市街地における雨水排水機能を確保し浸水を防止するとともに、上部道路の陥没を防止する。</p> <p>iii)個人財産の保護の観点：当該排水区における家屋の浸水を防止する。</p> <p>iv)その他：特になし</p>

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	有（令和4年9月1日公表済み）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	大下水第一雨水幹線の改築 排除面積 45.3ha 開削工法（布設替）□2300×1500 L=0.485km
			下水道管理者以外	該当なし
		ソフト対策	下水道管理者	該当なし
			下水道管理者以外	該当なし
	自助	ハード対策		大規模な開発事業における雨水貯留浸透施設の設置（小田原市雨水流出抑制施設設置基準）
		ソフト対策		該当なし

年度計画（百万円）

名称	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
雨水渠	128	280	210	160	150	105	235	155	1,423
計	128	280	210	160	150	105	235	155	1,423

項目	内容・施策等
整備効果	大下水第一雨水幹線においては、老朽化が著しいことから改築を行い、中心市街地の雨水排水機能を確保する。（57mm/hr、1/10対応）
放流先河川との調整状況	放流先は相模湾であり、整備区間から下流の雨水幹線を整備した際に、管理者との協議が整っている。
その他	

